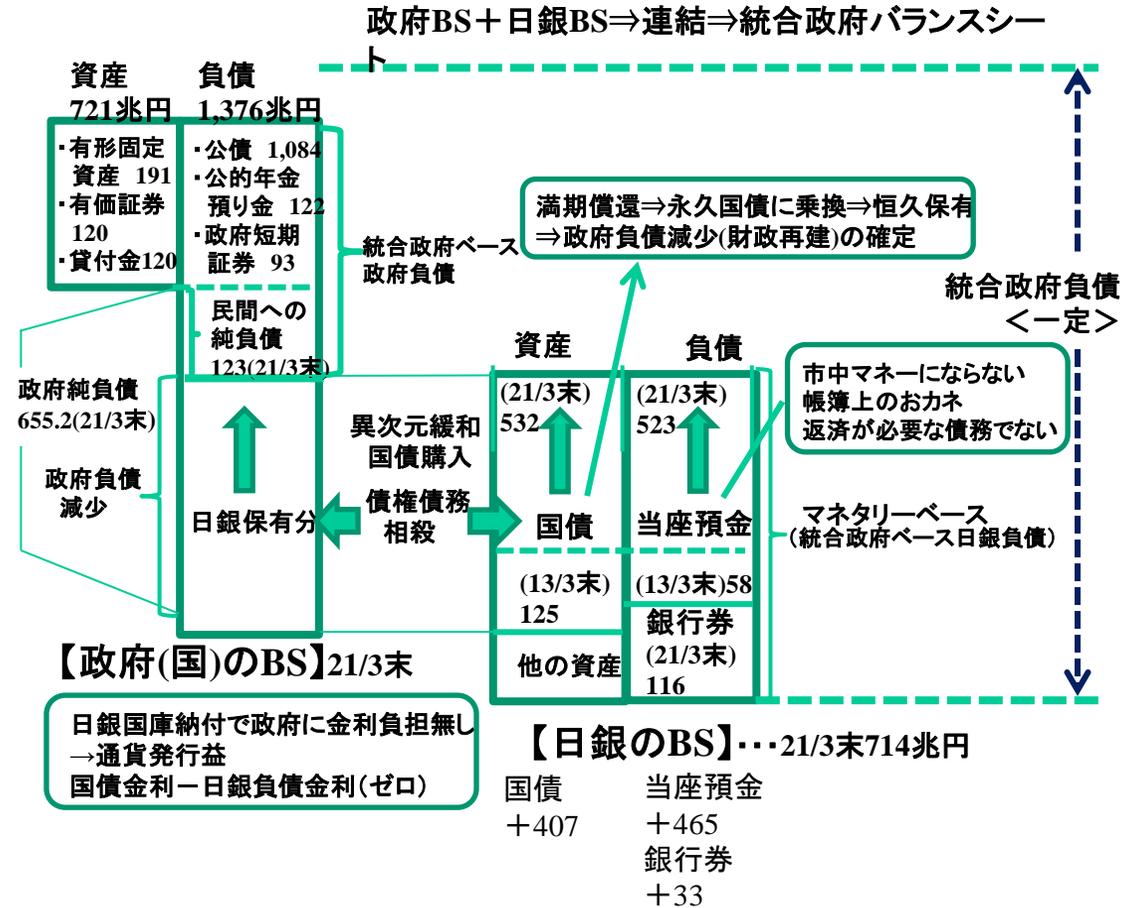


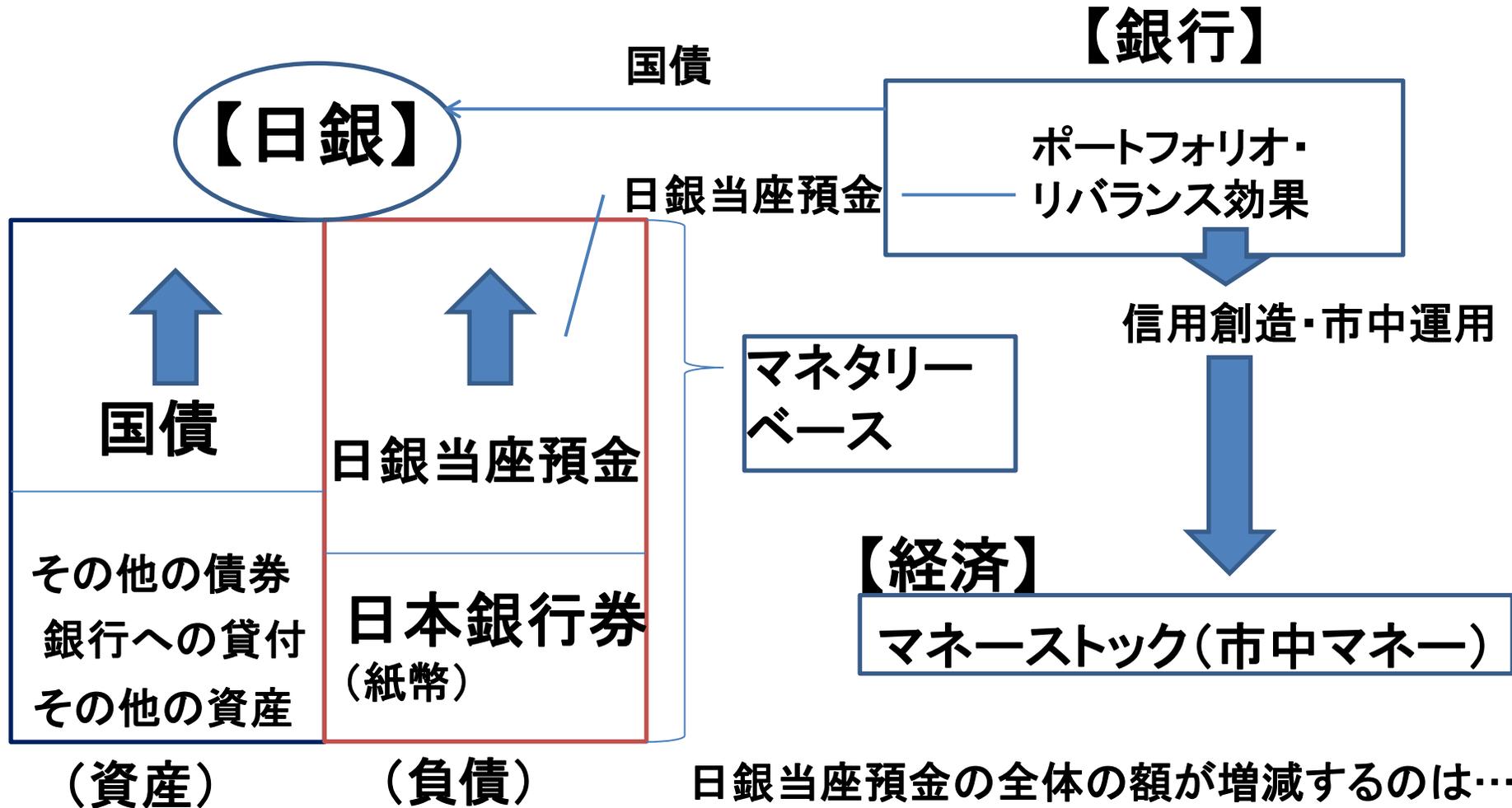
日銀保有国債

●日銀のバランスシート（兆円）

	2013年3月末→	増加額	→2022年3月末
☆全体	164.3→	+572兆円	→ 735.8
☆資産 国債	125.4→	<u>+401兆円</u>	→ 526.2
		<	1026.5(国債発行残高22年度末)
☆負債(ベースマネー)			
日銀当座預金	58.1→	<u>+505兆円</u>	→ 563.2
発行銀行券(お札)	83.4→	+37兆円	→ 119.9



異次元の量的緩和のメカニズム

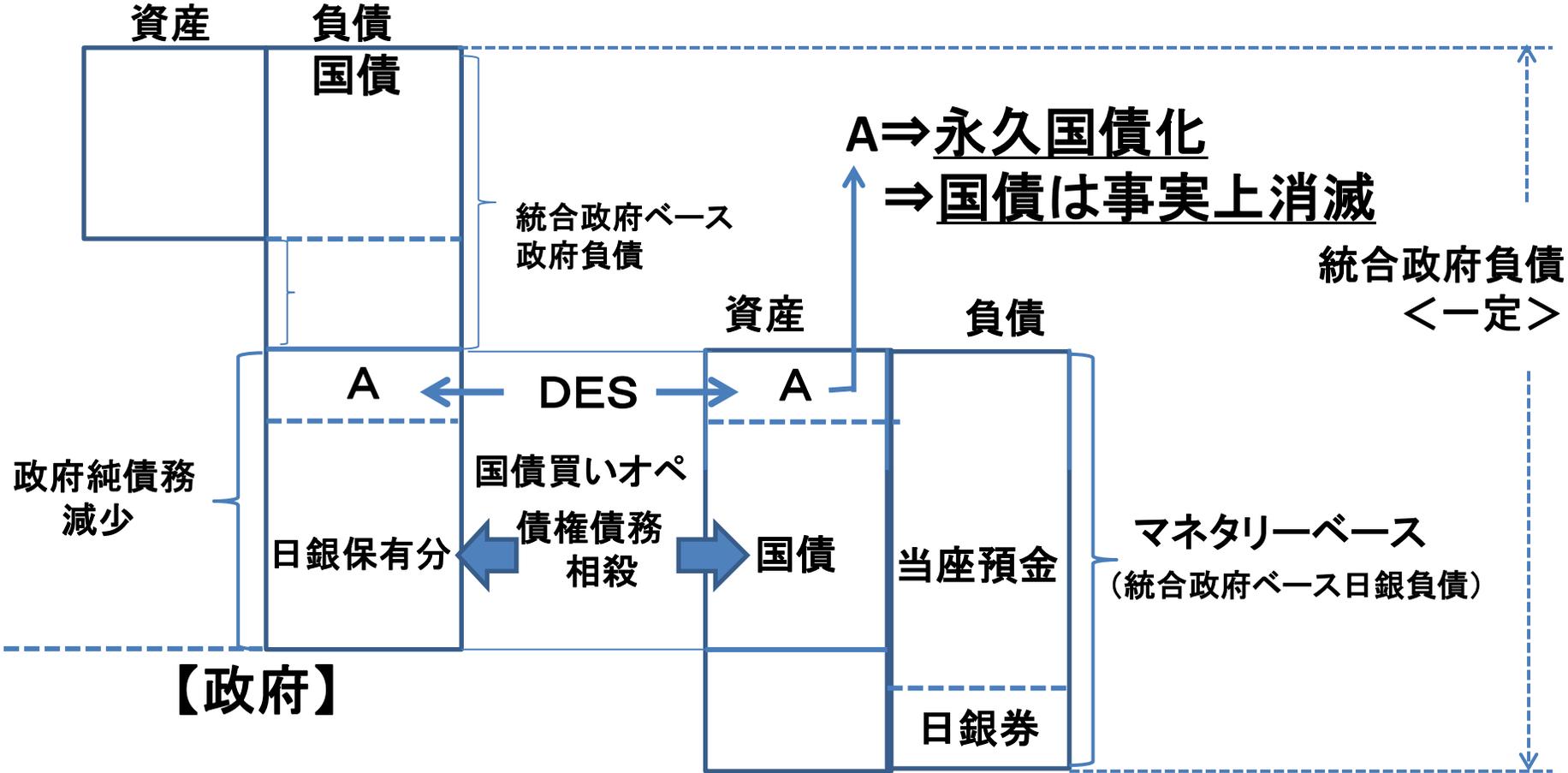


日銀当座預金の全体の額が増減するのは…

- ①日銀による売りオペ、買いオペ
- ②紙幣との交換
- ③日銀政府口座との資金のやり取り

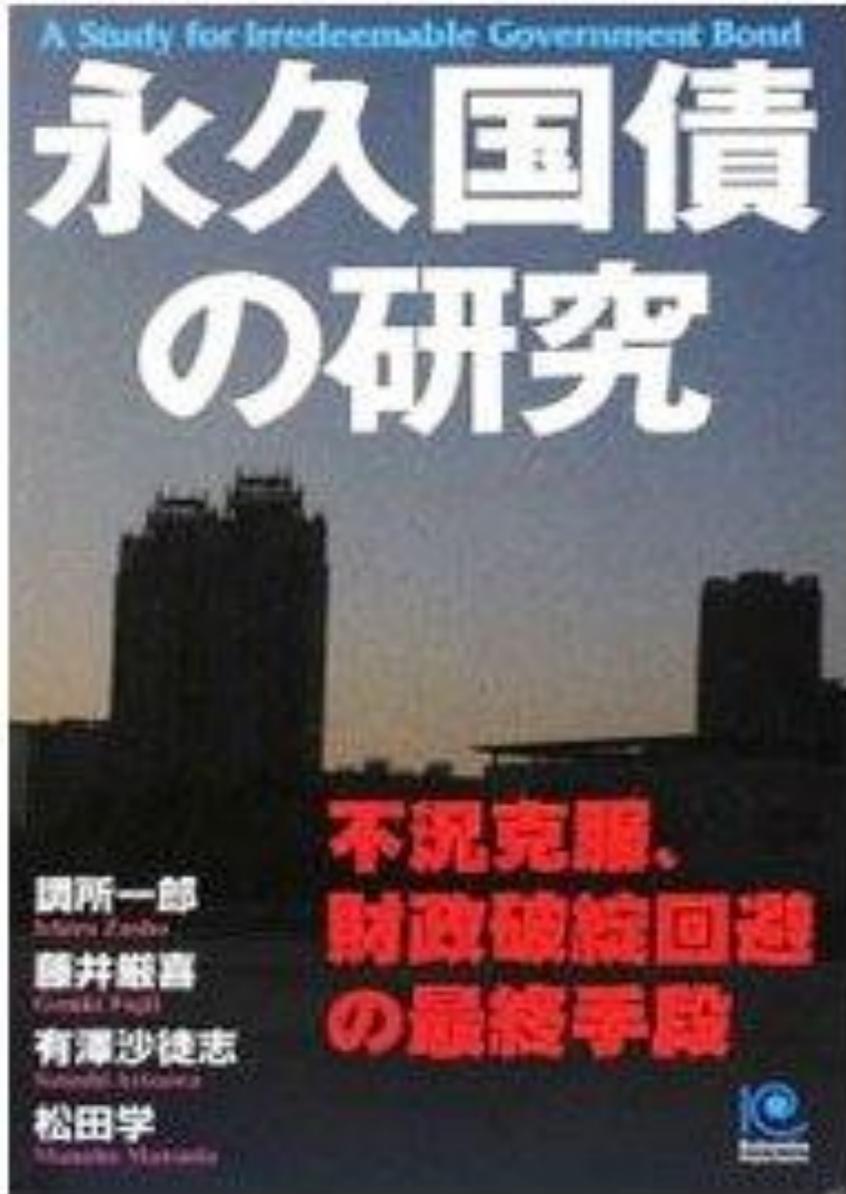
日銀保有国債⇒政府との間でデット・エクイティー・スワップ

政府+日銀 ⇒ 連結 ⇒ 統合政府バランスシート



国庫納付で金利もチャラに
 →通貨発行益
 国債金利-日銀負債金利(ゼロ)

【日銀】



- 元本を返さず、金利だけ払う国債
英国「コンソル公債」
(配当だけ払う株式のようなもの)

- 日銀保有国債

- ①満期が来たら永久国債に乗り換える

- ②市中に売らない 政府が返すまで日銀が保有

- ➡政府と日銀が協定（アコード）

- ➡政府は元本返済義務を免れる（任意に）

- 金利は日銀に支払う

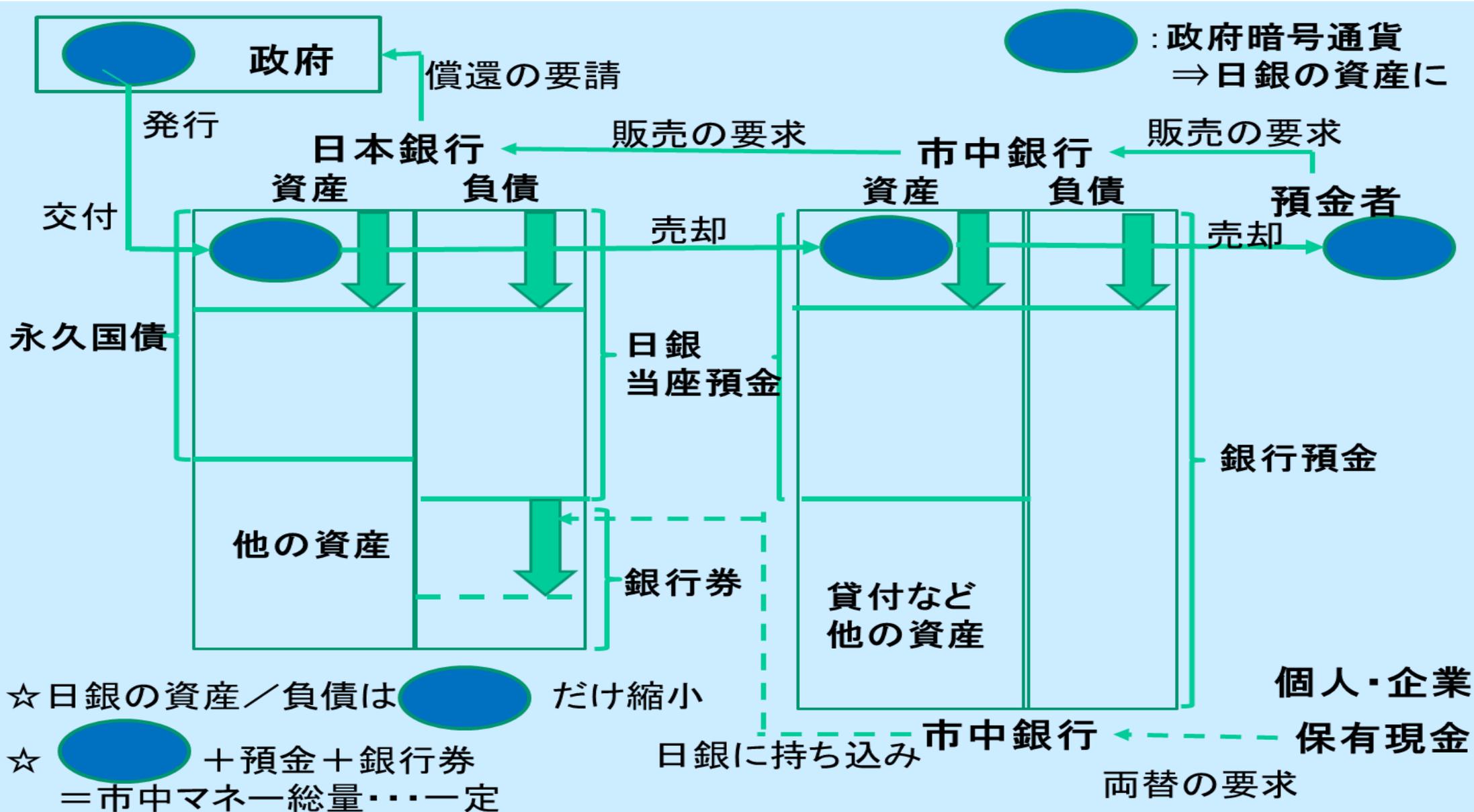
- 日銀に支払われた金利は日銀の利益

- ➡国庫に納める

- ➡政府には金利負担がなくなる

- 元本も金利も政府負担はゼロに
事実上、国債は消滅

松田プラン・・・日銀保有国債は政府発行デジタル円で償還⇒市中からの両替要求により流通



「松田プラン」によるデジタル円の性格

◎ 「松田プラン」によるデジタル円：

①利便性という価値

…スマートコントラクトで政府関係や民間のサービスへのアクセスが飛躍的に向上

（ワンストップ手続き、プッシュ型サービス）

②他の法定円通貨（キャッシュ、預金通貨）による裏付け（両替による取得）

…キャッシュの裏付けは日銀資産、預金通貨は金融システムへの信頼性

→最終的には日本円の信用そのもの

③ 発行ルールのシステム化⇒通貨としての規律

…ユーザーからの両替需要→市中銀行による日銀からの購入

→日銀からの国債償還要請→政府から日銀への供給をもって発行

④日銀が唯一の卸売店…事実上、日銀の独占的な通貨発行権の枠内

…円通貨の総量（キャッシュ＋預金通貨＋デジタル円）は従来通り日銀の金融政策の範疇に

⑤永久国債化で発生する収益が会計上のデジタル円のバックとも言える

「松田プラン」 デジタル円は自由と自律の論理

●デジタル人民元の場合…中央集権全体主義 国民監視のツール

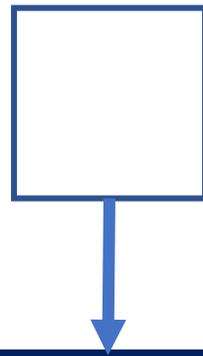
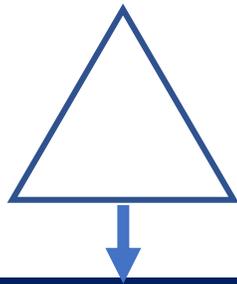
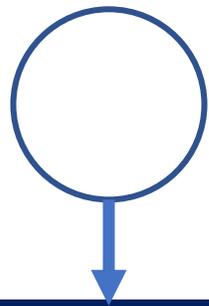
←中国人民銀行（共産党政府）にユーザーのデータ

⇔

●デジタル円の場合…民間が整備する新しい自律分散型「WEB3.0」が基盤に

←WEB2.0：GAFAsや中国のプラットフォーマー中央集権に対抗

多種多様な民間、自治体BCコミュニティ



.....

デジタル円
BCシステム

政府
マイナンバー

自律分散型の国産ブロックチェーン国内共通基盤

…あらゆる種類の多様なブロックチェーンコミュニティが乗る 自由に結びつく
完全なセキュリティ 国民ユーザー本位の社会 個人情報をご自ら管理…